



令和元年5月29日

多賀城市議会議長 殿

会派等名 日本共産党多賀城市議団

代表者名 藤原益栄

調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

- (1) 代表 藤原 益栄 (5)
- (2) 佐藤 恵子 (6)
- (3) 戸津川 晴美 (7)
- (4) 中田 定行 (8)

2 調査研究の概要

- 調査期間：令和元年5月22日（水）～令和元年5月23日（木）
- 調査目的：健康保険税における子どもの均等割り減免の実施について。
- 調査手法：視察調査 説明を受け調査を行う。
- 行程又は日程：添付行程表のとおり
- 調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
15日（木） 15:00~17:00	岩手県 宮古市議会	①健康保険税における子どもの均等割り減免の実施について

- 調査資料：添付調査先作成資料のとおり

3 調査の概要

別紙のとおり

4 所感（今後の市政に資する点）

別紙のとおり



【2-1】行程表

日本共産党多賀城市議団会派行政視察行程表<調査研究>

■日 程：令和元年5月22日（水）～令和元年5月23日（木）

■行 程：視察計画書の行程表のとおり。

3. 調査の概要

【3-1】岩手県宮古市の「健康保険税における子どもの均等割減免の実施」について

(3-1-1) 健康保険税における子どもの均等割り減免の実施の概要は別添《資料①》のとおり

(3-1-2) 宮古市の応対者・説明者

工藤宮古市議会副議長、菊地議会事務局長、松橋議会事務局次長

戸由市民生活部長、大越国民健康保険係長、阿部総合窓口課主任

(名刺コピーは別添)

(3-1-3) 宮古市での視察概要

視察は予定通り15時より始まり、まず工藤副議長より歓迎のあいさつをいただき、藤原が繁忙の折の視察受け入れに感謝を表すとともに、今注目されている健康保険税における子どもの均等割減免の実施について、宮古市における導入の経過、充当財源、議会の反応等を学び、今後の活動に生かしていきたい旨の視察の目的を簡潔に述べました。

次に、戸由市民生活部長以下4名から「健康保険税における子どもの均等割減免の実施」について、説明資料に沿って説明を受けました。



説明を受ける視察調査団

4 所感（今後の市政に資する点）

【4-1】視察の目的

今回の視察の目的は、子どもの均等割減免を実施し注目されている宮古市を視察し、導入の経過、充当財源、議会の反応などについて調査を行ったものです。

【4-2】視察の成果

宮古市の均等割減免の内容

宮古市での国保税の子どもの均等割減免は、2019年度から適用し、対象は18歳以下の子どもで、対象者の均等割を全額免除します。対象見込みは501世帯、836人です。

減免は、減免要綱一部改正で行い国保の申請のみでOKで、特段の手続きは必要ありません。

均等割減導入の背景と目的

導入の背景と目的については、国保税は協会けんぽ等に比べかなり保険税が高くなっていること、均等割は子供が増えるほど負担が増えることになり、子育て支援に逆行すること、以上のことから子育て支援の一環として支援を行うことにしました。

特に国保税が協会けんぽの保険料の1.8倍にもなっていることが大きかったとのこと。

きっかけは昨年の6月議会と12月議会の一般質問で取り上げられ、内部協議の結果、子育て支援のためにと市長の決断で実施に至りました。議会からは特に反論はありませんでした。

費用見込みと財源

所要額については、均等割減収額が1,476万円、システム改修費が358万円、計1,834万円で全額を一般会計から繰り入れ予定で、その財源はふるさと納税の市長お任せ分1億4千万円の一部を充当するとしています。






今回の視察で感じたこと

「国民健康保険は、低所得者が多い、高齢者が多く一人当たりの医療費が高いという構造的な課題を抱えており、協会けんぽ等に比べて保険料が高くなる傾向にあります。また、国民健康保険には、応益負担という考え方により被保険者の人数によって課税される均等割があり、子育て世帯にとっては、子供が増えると税負担が増えるという状況になっています。本市では、様々な少子化対策、子育て支援に取り組み、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めているところです。このことから、子育て支援充実の一環として、国民健康保険税における子どもの均等割減免を実施することにより、経済的な支援を行おうとするものです。」

という宮古市の考え方は、多賀城市においても全く同じ背景としてとらえることができ、子どもの均等割減免を実現していくために非常に役立つ視察でした。

以上視察した宮古市の例を参考に、多賀城市においても市民生活を豊かなものにしていくために様々な施策を講じていく必要があります。市民の声を大切にし、安心して子育てができるまちにしていくために、今回の視察研修の成果を今後の活動に活かしていきたいと思えます。

以上

議長		副議長		局長		補佐		係長		係員	
----	---	-----	---	----	---	----	--	----	---	----	--

令和 2年 2月 3日

多賀城市議会議長 殿

会派等名 日本共産党多賀城市議団

代表者名 佐藤 恵子









研修等報告書

このことについて、下記のとおり参加したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

- (1) 代表;遠藤 秋雄  (4) 
 (2)  (5) 
 (3)  (6) 

2 参加した研修会等の概要

- 研修期間：令和 2年 1月 27日（月）～令和 2年 1月 28日（火）
 研修会等名称：第49回市町村議会議員研修会in東京
 研修主催者：(株)自治体研究社
 研修場所：TKP神田ビジネスセンター
 研修概要（講師、日程、内容等）

第一日目全体会・自治体財政の基礎と2020年度予算（森裕之・立命館大学教授）
 第二日目専科A・国保・地域医療再編の動向と自治体（長友薫輝・津市立三重大学）

3 研修の概要

別紙の通り

4 所感（今後の市政に資する点）

自治体財政の根幹を理解することが研修の最大の眼目でした。「市民」と議員のための自治体財政に力を入れており、自治体財政の基本と勘どころを学びました。財政をわかりやすく理解するコツ、財政と家計の言葉の違い、決算カード（自治体財政の基本カード）の見方など、財政の現象面だけではなく、財政の制度や仕組みの変化を学習できました。

「財政の基本」を学んだ知識を今後の市政に生かしていきたい。財政を分析しその後の情報を組み合わせて、市民と共に進める自治体財政をめざしたい。

